

# 農村16きっぷ

## 特集

農村16きっぷの日常

清水川と私

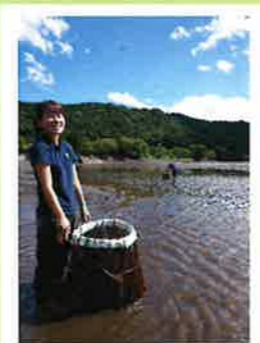
農村スナツプ





# CONTENTS

- 04 …… 農村 16 きっぷとは
- 06 …… 農村 16 きっぷのお仕事
- 08 …… 【特集】 農村 16 きっぷの日常
- 10 …… 【特集】 清水川と私
- 12 …… 【写真集】 農村スナップ
- 14 …… 【インタビュー】
- 魅力的な人に会いに行こっ！
- 18 …… 【集落紹介】 ムラ三昧
- 22 …… 農山村の皆様へ
- 23 …… 編集後記



表紙：鳥取市気高町

さあ、出発進行！

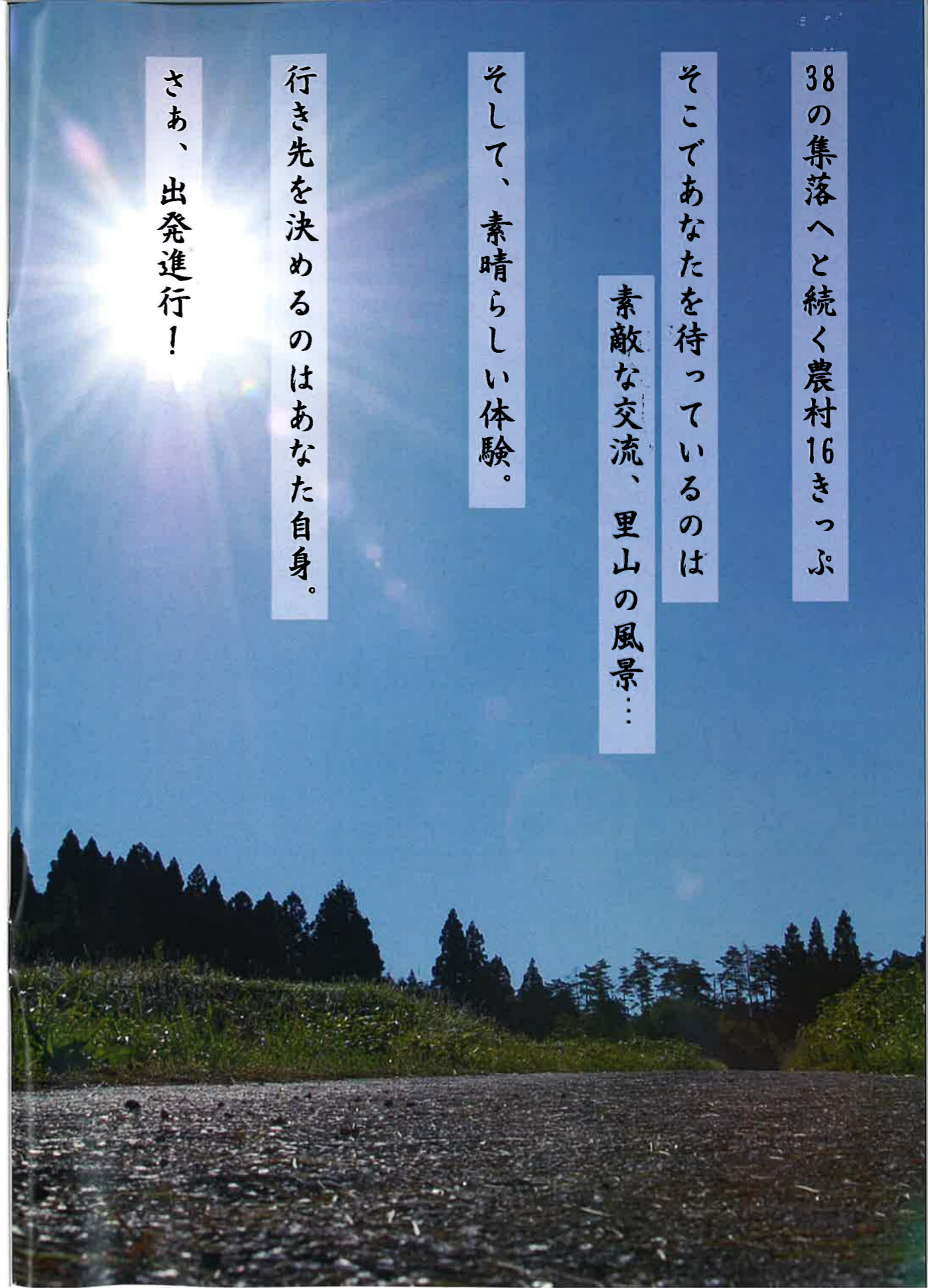
行き先を決めるのはあなた自身。

そして、素晴らしい体験。

そこであなたを待っているのは

素敵な交流、里山の風景…

38の集落へと続く農村16きっぷ





# 農村16きっぷとは

## 集落 × 学生



集落の風景



草刈りの様子



猪柵設置の様子



田植えの様子

### 〈きっかけ〉

農村16きっぷ設立のきっかけは、2002年、当時大学生だった現在NPO法人学生人材バンク代表の中川玄洋が個人的に農村のボランティアに携わり、いくつかの集落と親密な関係を築いたことです。そして、卒業後も集落との関係が途切れることなく、後輩たちにも交流する機会を与えたい、さらに、学生たちが自ら考え動く力を得る場所を作りたいという思いから農村16きっぷが生まれました。活動開始当初、ボランティアを派遣する集落の数は16集落でした。農村16きっぷという名前は、この16集落へボランティアを派遣する「切符のような役割を担いたい」という思いからつけられました。

### 〈概要〉

農村16きっぷは、「学生と集落を繋ぐ」をコンセプトに活動しています。高齢化や過疎化が進み、労働力不足となっている鳥取県内の集落を訪れています。ボランティアの内容は、田植え・電気柵設置・水路清掃などの農作業から、伝統的なお祭り

やイベントのお手伝いまで多岐に渡っています。ボランティアは大変ですが、やりがいや楽しさを感じ、作業が終わると達成感に包まれます。作業後には集落の方々とおいしい食事を共にしながら交流を行う慰労会があります。多くの学生が楽しみにしており、集落の方々の生の声を聴くことが出来る貴重な機会となっています。ボランティアを行うことで、高齢化や過疎化を現実のものと感じ、自分が大学で何を学んでいきたいのかを決める手助けとなっています。集落の方々の話はおもしろく、楽しく聞いています。

農村16きっぷには、農業やボランティアに興味がある、地域や社会に貢献したい、新しいことに挑戦したいと思っている学生が多く



### 〈全国コンテストでの受賞〉

「食と農林漁業大学生アワード2018」に出場し、史上初2回目の農林水産大臣賞を受賞することが出来ました。「食と農林漁業大学生アワード」とは、食や農林漁業に関する取組を行っている学生団体や大学の研究室によるプレゼン大会です。書類審査によって選考された10団体が発表しました。受賞という形で評価していただけたことは、今ある農村16きっぷという団体を築き上げてくださった集落の皆様・先輩方のおかげです。これからも私たち農村16きっぷをよろしく願います。



農林水産大臣賞受賞後の様子

います。農村16きっぷでの活動を通して、大学に通っているだけでは体験できない数多くのことを経験しています。共通の思いや農業などの話題があるからこそ、学生同士でも、学生と集落の方とでも濃い話ができて、良い関係を築くことができています。また、強い意志を持った学生が集まっているため、17年間先輩から後輩へたすきを繋ぐように活動が受け継がれ、集落の方々から必要とされる団体であり続けているのだと思います。今後の活動を通して、今まで以上にたくさんの方々との出会い、様々なことを経験します。今ある集落との関係をこの先もずっと続けていきたいです。



# 農村16きつ ぷのお仕事

## 里山整備

農地の維持管理のための竹林整備を行います。力を必要とする仕事ですが達成感があり楽しめます。



## 柵設置

イノシシやシカが畑に入らないよう、ワイヤーメッシュ柵や電気柵設置をします。

## 梅収穫

一粒一粒、自分たちの手でもぎ取ります。梅干しや梅ジュースに加工し、販売することも。

## 田植え

5~6月にかけて行われます。皆で一列に並び、一斉に苗を植えます。

## 稲刈り

9~10月、稲穂が黄金色に染まるころ、稲刈りが行われます。



## 草刈り

草刈り機を使って除草を行います。地道で体力を必要とする分、達成感を一段と味わうことのできる作業です。

## 水路清掃

田圃に水を流すため、水路に溜まっている草や土砂を取り除く作業です。



## イベント補助

地域のお祭りや伝統行事など、イベント運営の補助をします。共に盛り上げることで地域の方々との交流も深まります。





# グループ活動 …ボランティアの他にも3つのグループに分かれて活動をしています。

## 販売班

集落で採れた食材を梅ジュースや五平餅などに加工して学園祭や鳥取県内外のイベントで販売しています。そして、買いに来てくださったお客さんに集落の魅力を伝える活動をしています。



学園祭での販売

## 交流班

夏と冬の年に2回、集落と学生をつなぐをテーマに「村咲ク」と題した川遊びや逃走中などのイベントを開催しています。企画から運営までを自分たちで行い、みんなで楽しめる空間を作る活動をしています。



夏の村咲クの川遊び

## 広報班

農村16きっぶの活動や集落について、より多くの方々に知ってもらうために年に1回、このパンフレットを作成しています。見る人が楽しくなるパンフレットを目標に活動しています。



パンフレット合宿最後の追い込み

## 4.反省



ボランティア後の反省会

ボランティア終了後に良かった点や悪かった点、楽しかった点を話し合います。そして、その内容を次回の会議でスタッフ間で共有します。また、ボランティアの内容や感想を報告書にまとめたり、多くの方々に見てもらうための様々な広報活動を行っています。(広報活動については下記を参照)



おいしいな



取ったどおー



いっぱい仕事した～

## 広報活動

私たち農村16きっぶは、より多くの方々に日々の活動や集落について知ってもらうために広報活動を行っています。

Twitter



Facebook



BLOG



農村16きっぶイメージキャラクター トムくん

今からみよう!

農村16きっぶ

検索

## 【特集】

# 農村16きっぶの日常

作業だけじゃない!

農村16きっぶがいつもどんなことをしているか、ひとめでわかるよ!!

(担当: 浅井 芹奈)



もしもし

## 1.ボランティア確認

ボランティアの申請がきた集落の担当者を決めます。担当者は依頼がきた集落に作業内容や人数、持ち物などの確認を電話でします。



先週のボラ楽しそうだな

## 2.会議



会議中の風景

前の週末に行ったボランティアの反省を共有します。その後、今週末のボランティアに行く人を決めます。また、3つの班に分かれてグループ活動を行います。(グループ活動については9ページを参照)



コツをつかんだぞ!

## 3.ボランティア



雨の中の水路清掃

集落まで車で移動します。そこで、田植えや草刈り、水路清掃などの作業をします。学生は暑い日でも寒い日でもいつも全力です。また、昼食や休憩、作業を通して集落の方々と交流を深めます。交流を楽しみにしている学生も多くいます。



ひとやすみ



## 【特集】清水川と私

農村16きっぷスタッフの山田 幹が清水川集落の連絡担当を1年間感じて感じたこと、集落の魅力について紹介していく。

〔清水川とは？〕

鳥取県西部に位置する南部町清水川集落。農村16きっぷは6年前からボランティア派遣をしている。また集落には、古事記に伝わる大国主命（おおくにぬしのみこと）の復活に用いたとされる湧き水が流れている。

〔5月 古代米田植え〕

## 学生の声響く水田

晴天の下、清水川集落では今年も『古代米田植え』が行われた。この集落の古代米は大国主命の復活に用いたと伝えられている『清水井の水』で栽培される。

学生の中には、裸足で水田に入り、苗を1つ1つ手で植えることを初めて経験する人も少なくない。田んぼのドロドロした感触、段々辛くなる前傾姿勢など、いわゆる“しんどい”作業のはずだが、すべて植え終えた後は自然と充実感、達成感に包まれる。

作業後には、集落の方々とのお話も弾む。賑やかで笑顔の絶えない様子を見て清水川集落の庄倉 三保子さんは「もはや学生がいることが当たり前の景色になっている。学生が来て声が聞こえるだけでも集落にとっては心理的に良い効果になっている。」と言う。



田植えの様子  
学生が横1列になり、古代米の苗を1つ1つ丁寧に植えていく

〔6、8月 草集め〕

## 三保子さんの手料理

清水川集落の草集めは、日中の酷暑を避けるため早朝から行われる。それに備えて、学生は前日に三保子さん宅で宿泊するのだが、楽しみと言えば、『手料理』である。

しかし、三保子さんは開口一番に「いつも来てくれる人は同じ料理でつまらんかもしれないわ」と言う。しかし、実際はそんなことはなく、いつも食卓は季節の山の幸を使った、色とりどりのご馳走で埋まる。一人暮らしの学生は、普段食べられない暖かみのある手料理をたたく食べ、英気を養う。

そして、翌朝6時、前の週に刈られた草を前に、私たちはフォークとレーキを持ち、眠い目をこすりながら地域の通学路の草を集める。



16月の草集め

→清水川での前泊の様子  
集落の方の家でご飯をいただいた



〔10月 古代米稲刈り〕

## 清水川に集う理由

古代米の収穫は田植えと同様、機械を使わず、すべて人の手で行われる。出身も世代も幅広い人たちの手で稲は一気に刈り取られる。

こうして収穫されたお米は、ピンク色の日本酒『比賣神乃雫（ひめがみのしずく）』に加工されたり、地域の学校給食で提供される。また、今回のボランティアには5人の農村16きっぷOB・OGが参加した。参加した湯崎さんは「サークル引退後も、疲れた時などには清水川に行きたくなります。清水川は集落の方全員の仲が良く、いつも温かく迎えてくれます。作業後にはリフレッシュした気持ちで帰れます。」と言う。清水川集落の和やかで温かい雰囲気再び訪れたい理由の一つであるだろう。



↑稲刈りの様子。最後の1株は4人で刈り取った

→今回のボランティアに参加した農村16きっぷOGの湯崎 千聖さん。学生の間、清水川には6回訪れたという







# 農村スナッパ

ボランティア中には、思いがけないことが起こって  
 学生たちもついつい笑顔に。  
 そんな学生スタッフの様子をちょっとだけご紹介♪